

2026 年 9月17日

『南洋群島に生きた沖縄移民』正誤表

ページ 箇所	誤	正
序章		
p.27 後ろから 5 行目	～のだと指摘する。	～のだと指摘する ⁽⁵⁴⁾ 。
第 1 章		
p.47 最後の行	脚注番号(7)	削除
pp.54-98 最後の行	脚注番号(20)～(115)	脚注番号(21)～(116)
p.69 1 行目	ビクル 担	ビクル 担
p.101 21 行目	脚注番号(8)	削除
pp.101-110	脚注番号(9)～(117)	脚注番号(10)～(116)
p.107	脚注番号(74) …、二六頁。	(73) …、一〇七―一〇八頁。
p.107	脚注番号(75) …、一〇七―一〇八頁。	(74) …、二六頁。
p.107 後ろから 4 行目	…脚注 75 に挙げた…	…脚注 76 に挙げた…
第 2 章		
p.116 12 行目	京都大学農学部旧簿記研究所	京都大学農学部附属旧農業簿記研究施設
p.116 後ろから 1 行目	旧簿記研究所	旧農業簿記研究施設
第 3 章		
p.179 表 3-1	産糖高 (担)	産糖高 (担)
p.180 図 3-1 縦軸単位	(万担)	(万担)
p.183 6 行目	脚注番号(15)	脚注番号(16)
p.203 1 行目	脚注番号(45)	削除
p.231 後ろから 10 行目	脚注番号(16) 松江はその後、……	(16) 矢野によれば、日本の南洋論の盛り上がりは、明治期、大正期、昭和期と三度にわたって生じたが、一九三六年に「南進」が国策となった昭和期は、「南進」の「黄金時代」であった（矢野暢『「南進」の系譜：日本の南洋史

		観』千倉書房、二〇〇九年、二九一頁）。
p.231 後ろから 8 行目	脚注番号(15) 矢野によれば、……	(17) 松江はその後、松江はその後、一九三二年に、日本の過剰人口問題を解決するために、日本政府はオランダ政府と交渉し、蘭領ニューギニアを買収すべきであると説いた文書『蘭領ニューギニア買収案』を公刊している。
pp.235-237	脚注番号(61)～(88)	脚注番号(65)～(92)
第 4 章		
p.240 頁 1 行目	京都大学農学部旧簿記研究所	京都大学農学部附属旧農業簿記研究施設
第 6 章		
pp.376-393	脚注番号(25)～(73)	脚注番号(25)～(73)
pp.423	脚注番号(47)と(48)の間	(48) 同右。 (49) 同書、九一頁。
pp.423-424	脚注番号(48)～(73)	脚注番号(50)～(75)
第 7 章		
pp.442-481	脚注番号(18)～(87)	脚注番号(19)～(88)
pp.484-487	脚注番号(18)～(87)	脚注番号(19)～(88)
第 8 章		
p. 516 4-6 行目	<u>倒壊した茅葺の家は</u> 、豊一が生まれた間もない頃に、…音信が途絶えた。その後、母が女手一つで…造りが弱かった。	豊一が生まれて間もない頃に、…音信が途絶えた。 <u>倒壊した茅葺の家は</u> 、その後、母が女手一つで…造りが弱かった。
終章		
pp. 584 7 行目	「志那人」	「支那人」
参考文献		
p. 624 3 行目	山田智樹	山田智輝